

講義題目/Subtitle	健康科学調査実習 / Social Survey Methods in Health Science Code:02208	
授業の目標、概要 /Course Objectives/Overview	本実習では、健康科学研究で頻用される社会調査を取り上げる。しかしその技術的習得を直接のゴールとはしない。社会調査を何の目的で行うのか、異なる手法のなかから何を根拠に選ぶのか、調査を行うときに「自分」と「対象者」をどう位置づけるのか、など社会調査を実施するにあたっての「心構え」を、仮想的な「調査」の実施を通じて体得してもらう。加えて、学術的な仮説の立て方、社会科学モデルの作り方についても学ぶ。また、その際に役立つ、基礎的な統計解析手法についても、座学と統計ソフトSASを用いた実習を通じて身につける。	
授業のキーワード/Keywords	和	仮説,量的・質的分析,評価,概念抽出,心理学的尺度法,マーケットセグメント,対象
	英	hypothesis building, quantitative and qualitative research methods, evaluation, conceptualization, psychometrics, target and segmentation
授業計画/Schedule	<p>4/ 5 (担当 ; 高木)</p> <p>1限 オリエンテーション・社会調査概論 (数字をどう読むか?)</p> <p>2限 対象選択とニーズ調査</p> <p>3-4限 高木 社会調査における数値の取り扱いと意味(推計と検定)</p> <p>5限 次週のための準備</p> <p>4/19</p> <p>1限 橋本 リサーチコンセプトを固める・ポジショニング(満足度調査)</p> <p>2限 橋本 コンセプト・モデリング、心理学的尺度の基本的理論</p> <p>3-4限 高木 心理学的尺度の信頼性と妥当性の統計</p> <p>5限 次週のための準備</p> <p>4/26</p> <p>1限 橋本 調査の実際(コンタクト・説明ほか)</p> <p>2限 橋本 倫理申請のポイント</p> <p>3-4限 高木 確率論的サンプリングと母数推計</p> <p>5限 次週のための準備</p> <p>5/10</p> <p>1-2限 橋本・高木</p> <p>3-5限 橋本・高木 調査設計ならびに調査票作成</p> <p>5/17</p> <p>1-2限 橋本・高木 調査票作成 調査実査 (午後は五月祭準備休講)</p> <p>5/24</p> <p>1-5限 橋本・高木 調査結果の分析とプレゼン準備</p> <p>5/29</p> <p>1-2限 橋本・高木 調査発表会</p> <p>3限 橋本 質的調査の実際</p> <p>4-5限 報告書作成・提出</p> <p>5限 レポート作成作業</p> <p>5/30</p> <p>3-5限 レポートの作成と提出</p>	
授業の方法/Teaching Methods	午前1、2限は主に調査方法の講義・演習 (仮想的) 午後3、4限は主に社会科学・統計学などの計量手法についての講義・演習 5限は翌週の課題に向けた準備作業に費やす 個別ないしグループごとのディスカッション・レポート提出	
成績評価方法/Grade Evaluation	出席30%、質問など発言内容30%、課題提出40% 出席や発言については個別に評価するが、 実習中の作業ならびに提出課題 (中間・最終発表) はグループとしての評価を行う。 パフォーマンスが悪いとグループ全体に影響するのでそれぞれがグループへの貢献を意識することが必要。	
教科書/Textbook	指定しない、適宜資料配布	
参考書/Reference	指定しない、適宜紹介	